

## 2019年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文	学年	3
				コース	AB選抜
	使用教科書		『現代文B』数研出版	履修単位数	文3・理2
学習目標	物事を抽象化して捉える力、常識を相対化する力を鍛えることにより、自分の生き方や社会のあり方について深く考える力をつける。また、言葉の構造・文章の構造を理解しながら、論理的に思考する力・表現する力をつける。さらに、現代文問題について解法の技術を伸ばす。			評価の観点	社会生活に必要な国語について、特質を理解し適切に使うことが出来るかどうか。また、伝え合う力や思考力・想像力が身についているかを評価する。
<b>授業計画</b>					
月	単元・教材	学習内容			
4	1 「『文化が違う』とは何を意味するのか？」	1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な部分と抽象的な部分に分けて本文を見るとともに、文章の主題を的確にとらえる。</li> <li>・筆者の言う文化相対主義とはどのようなことか、理解する。</li> <li>・真の異文化理解とはどのようなことか、考える。</li> </ul>			
5	2 「人はなぜ働かなくてはならないのか」	2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説を立てて、一般的に考えられる答えを否定しつつ、真の「労働の意義」に迫る筆者の論理展開を把握する。</li> <li>・人間が「社会的存在」であることを十分に理解し、「働くこと」についての考えを深める。</li> </ul>			
	3 問題演習	3 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代文問題の解法を理解する。</li> </ul>			
《第1回定期試験》					
6	1. 「消費されるスポーツ」	1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカの近代スポーツの特徴と大衆消費社会との関連性を理解する。</li> <li>・近代スポーツのメディアの発達に伴った変容について理解する。</li> <li>・スポーツの観客集団から可視化された社会を示唆する論理展開を学ぶ。</li> </ul>			
7	2. 「エコロジーのミューズを求めて」	2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコロジー・ムーブメントの表層性を近代の問題点とともに理解する。</li> <li>・筆者の提唱する「プリミティブなエコロジー」について理解を深める。</li> </ul>			
	3. 小論文演習	3 <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題文の主題を的確に読解する。</li> <li>・設問を分析し、課題文の主題に対応した小論文を書く。</li> <li>・互いに文章を評価し合うことで、意欲的に文章を推敲する。</li> </ul>			
《第2回定期試験》					
9	1. センター試験問題の解法	1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・設問分析・傍線部分分析を土台に、文脈を理解していく評論文解法について理解する。</li> </ul>			
10	2. センター試験問題トレーニング	2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心情描写を追いながら、小説の主題を理解していく小説解法について理解する。</li> </ul>			
11		3 <ul style="list-style-type: none"> <li>・記述式問題の解法を理解するとともに、小論文の記述方法に慣れる。</li> </ul>			
12					
1					
副教材	『現代文キーワード読解』Z会				

## 2019年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文	学年	3
				コース	AB文・理 スポーツ
	使用教科書	『現代文B』数研出版		履修単位数	AB文3・理2 スポ3
学習目標	<p>1 近代以降のさまざまな文章を読み、読書に親しむ態度を身につけ、言語文化への関心を高める。また、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育む。</p> <p>2 評論文の読解を通して論理的読解力を完成させ、複雑な文章を客観的に理解できる。</p> <p>3 記述問題や小論文にも対応できるような文章作成力を身につける。</p>			評価の観点	<p>社会生活に必要な国語について、特質を理解し適切に使うことが出来るかどうか。また、伝え合う力や思考力・想像力が身につけているかを評価する。</p>
<b>授業計画</b>					
月	単元・教材	学習内容			
4	『文化が違う』とは何を意味するのか？	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文中に出てくる「文化相対主義」について正しく理解し、グローバル社会への認識を深める。</li> <li>・真の異文化理解とはどのようなことなのか、考える。</li> </ul>			
5	「人はなぜ働かなくてはならないのか」	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークを通し、仮説と検証を繰り返し、説得力を持って結論へ導くという論理の展開を整理して筆者の主張をとらえる。</li> <li>・人間が社会的なものであり、「働く」という他者との関わりの中で自己が成立することを理解させ、「働くこと」についての考えを深める。</li> </ul>			
《第1回定期試験》					
6	『「である」ことと「する」こと』	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「民主主義」についての筆者の考えを的確にとらえる。</li> <li>・文章中の逆説的な表現がもたらす表現上の効果を理解する。</li> </ul>			
7	「消費されるスポーツ」	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカの近代スポーツの特徴と大衆消費社会との関連性を理解する。</li> <li>・近代スポーツのメディアの発達に伴った変容について理解する。</li> <li>・スポーツの観客集団から可視化された社会を示唆する論理展開を学ぶ。</li> </ul>			
《第2回定期試験》					
9	小論文演習 1	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題文の主題を的確に読解する。</li> <li>・設問を分析し、課題文の主題に対応した小論文を書く。</li> <li>・互いに文章を評価し合うことで、意欲的に文章を推敲する。</li> </ul>			
10	「舞姫」	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による音読と古典文法の知識を頼りに、文語文で書かれた作品の内容を読み取る。</li> <li>・明治のエリート豊太郎にしてあった内面の、人間的貧弱さとともに、近代日本の社会や人間のあり方について考える。</li> </ul>			
11	「エコロジーのミューズを求めて」	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコロジー・ムーブメントの表層性を近代の問題点とともに理解する。</li> <li>・筆者の提唱する「プリミティブなエコロジー」について理解を深める。</li> </ul>			
《第4回定期試験》					
12	「メディアのテロル」	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マス・メディアが起こす時間感覚の変容を読み取る。</li> <li>・「経験の交換」とはどのように行われるのかを読み取る。</li> </ul>			
1	「無常ということ」	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学的な評論文を読むことで、表現や論の展開について学ばせる。</li> <li>・「美」と「歴史」についての筆者の思考の過程を追いかける。</li> </ul>			
副教材	『現代文キーワード読解』Z会				

## 2019年度 シラバス

教科	国語	科目	古典	学年	3
				コース等	AB選抜・AB文系・スポーツ
	使用教科書		『古典B』数研出版	履修単位数	3
学習目標	<p>有名作品の面白さ、奥深さを理解し、古典への興味・関心を深める。また、思想や感情などを的確に捉えたり、その価値観を考察したりして、自分の考えを深め、発展させる。さらに、古今の言葉の違いについて理解し、言語についての知識や理解を深める。そして、難解な文章の読解に挑戦し、大学受験問題に対応できる能力を身に付ける。</p>			評価の観点	<p>定期試験、授業内での小テスト、提出物、授業態度などを総合的に評価をする。</p>
授 業 計 画					
月	単元・教材		学 習 内 容		
4	<p>随筆 「二月つごもりごろに」 (『枕草子』)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作中での清少納言の心情の推移を読み取る。</li> <li>・助詞「さへ」「ばや」を理解する。</li> <li>・敬語に注目し、人物関係を理解する。</li> <li>・用法の多い助動詞「む」「べし」「じ」「まじ」について使い分けができるようにする。</li> <li>・当時の後宮生活に触れ、その華やかさを味わう。</li> <li>・中宮定子の作者に対する思い、作者の中宮定子に対する思いを整理する。</li> <li>・『枕草子』の表現や構想について考える。</li> </ul>		
5	<p>「宮に初めて参りたるころ」 (『枕草子』)</p>				
《第1回定期試験》					
6	<p>日記 「鷹」(『蜻蛉日記』)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の女流日記文学から世相や貴族女性の生き方を読み取る。</li> <li>・作者と道綱のやりとりを整理し、道綱の心情について考察する。</li> <li>・使役・受身の助動詞について理解し、現代語訳する。</li> <li>・疑問の表現について確認し、理解を深める。</li> <li>・作者の、自己を客観視する視点に気づき、作者の人物像を考える。</li> </ul>		
7	<p>「土御門邸の秋」 (『紫式部日記』)</p>				
9	<p>物語 「須磨」(『源氏物語』)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・華々しい都を離れた源氏の生活ぶりについて読み取る。</li> <li>・四首の和歌の内容をとらえ、共通する心情について考察する。</li> <li>・二方面に対する敬語表現を理解する。</li> <li>・登場人物の気持ちの推移をたどる。</li> </ul>		
《第2回定期試験》					
9	<p>物語 「紫の上の死」(『源氏物語』)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・死期の迫る紫の上の美しさや、紫の上の死がどのように表現されているかを読み取りまとめる。</li> <li>・敬語の用法を理解する。</li> <li>・死を覚悟した紫の上の歌と、それに対する光源氏、明石中宮の返歌を読み取る。</li> <li>・陳寔の人柄の優れている点を読み取り、自身のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。</li> <li>・否定の句法について理解し、正しい口語訳ができるようにする。</li> </ul>		
10	<p>逸話 「梁上君子」(『後漢書』)</p>				
11	<p>逸話 「梁上君子」(『後漢書』)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・二大文学作品の作者がどのような人物と評されていたかを読み取る。</li> <li>・紫式部の『源氏物語』執筆の経緯についてまとめる。</li> <li>・清少納言と紫式部の心情を理解する。</li> <li>・登場人物の心情が読み取れる箇所を指摘する。</li> <li>・文中に出てくる様々な句法を理解し、正しく口語訳する。</li> <li>・現代日本にも通ずる感動や面白さを作品を通して味わう。</li> <li>・「復」「又」「亦」の意味を理解して現代語訳する。</li> </ul>		
《第3回定期試験》					
12	<p>評論 「清少納言と紫式部」 (『無名草子』)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・二大文学作品の作者がどのような人物と評されていたかを読み取る。</li> <li>・紫式部の『源氏物語』執筆の経緯についてまとめる。</li> <li>・清少納言と紫式部の心情を理解する。</li> <li>・登場人物の心情が読み取れる箇所を指摘する。</li> <li>・文中に出てくる様々な句法を理解し、正しく口語訳する。</li> <li>・現代日本にも通ずる感動や面白さを作品を通して味わう。</li> <li>・「復」「又」「亦」の意味を理解して現代語訳する。</li> </ul>		
1	<p>小説 「売鬼」(『捜神記』) 「人面桃花」(『本事時』)</p>				
2	<p>小説 「売鬼」(『捜神記』) 「人面桃花」(『本事時』)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文・漢文の文法・句法の総復習を、問題集を通して行うことで知識の定着を図り、受験に対応できる力を育成する。</li> </ul>		
《第4回定期試験》					
3	<p>演習問題 「入試対策演習問題集」</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文・漢文の文法・句法の総復習を、問題集を通して行うことで知識の定着を図り、受験に対応できる力を育成する。</li> </ul>		
副教材					
副教材	<p>『みるみる覚える古文単語300+敬語30』いづな書店 『完全マスター古典文法』第一学習社 『漢文必携』桐原書店</p>				